

重点活動「まちぐるみ心と体の健康づくり」取組の経過

八本松小学校区住民自治協議会

はじめに

住民自治協議会は、重点活動の一つに「やすらぎ・いやしの環境整備」を掲げ具体的な対策を進めてきました。

この活動は地域の方々の「心と体の健康づくり」を目的としたもので、昨年度は「市民協働のまちづくり」活動応援補助金により「ウォーキングコースのマップ作り」と地域センター外苑等「コース周辺の環境整備」を進めてまいりましたのでその経過概要を紹介します。

1 環境整備の取組 アイデアを集める

平成27年10月4日地域センターで38名の地域の方の参加のもとワークショップを開きウォーキングコースの設定とコース周辺環境整備のアイデアを集めた。



その結果、21のコースの提案があり、学校区を中心拠点として地域センターに景観を生かした憩いの場を整備する等の意見が出された。

地域のウォーキングコースの
アピールポイントと課題・要望

地域センター外苑整備の課題・要望

区分	項目	件数
問題点	あり方(憩いの場)	1
	計	1
実行計画	あり方(憩いの場、拠点)	8
	計画作成(総合計画)	1
	計	9
要望	施設整備(景観、ベンチ)	25
	周辺整備(ポト、歩道)	4
	水質改善(清掃、噴水)	3
	案内板(ウォーキングコース)	3
	環境整備(植樹)	3
	今後の対策(美術館)	2
	安全施設(池柵)	1
イベント(鯉のぼり)	1	
計	42	
合計		52

区分	項目	件数
アピールポイント	景観(山、池、植物)	9
	遊歩道(安全)	3
	健康(森林浴)	2
	ふれあい	1
	歴史	1
	計	16
	問題点と課題	周辺環境(雑草、犬)
道路整備(ミラー、横断)		4
安全施設(街路灯)		3
休息施設(ベンチ、トイレ)		3
維持管理(雑草)		2
ウォーキング心構え		1
公園施設		1
計	21	
提案要望	休息施設(ベンチ、飲水)	7
	道路整備(歩信号)	7
	案内板(ウォーキングコース)	7
	コース設定(標準コース)	4
	安全施設(街灯)	1
計	29	
合計		66

() は主な意見 黄色部分は事業で取り上げた項目

2 ウォーキングコースの現地調査の実施と情報収集

ウォーキングショップの提案に基づき標準的なウォーキングコースの抽出と公園等の整備場所と内容を整理のうえ、自治協プロジェクトチームにより作業を開始した。

ウォーキングコースは安全性と景観を重視し八本松西・北地区で3コース、八本松中央・南地区で2コース、八本松東地区で1コースの計6コースを抽出し、それぞれ現地確認等によりコースの修正・記載事項の情報

を収集した。

また、広島大学スポーツ科学センターや日興苑遊歩会からウォーキングの方法や貴重な現地情報の提供を受けた。

さらに、公園整備はセンター外苑の整備と抽出したウォーキングコースをウォーキングする際、最低限必要と思われる看板とベンチの設置場所について現地確認を行った。

(平成27年10月～12月)

ウォーキングコースの現地確認



八本松南・東地区の現地調査(H27.11.12)



八本松西地区の現地調査(H27.12.23)

外苑整備の現地確認



ウォーキングショップの提案内容に基づきセンター外苑の実態調査を行うプロジェクトチーム(H27.10.04)

センターと美術館の間にある「偲郷の庭」には木が茂り外部から見えにくい危険な箇所。伐採し見通しを良くすると七つ池がよく見える安全な広場になる。さらに、水位が上がれば池面に美しい林が映り野鳥観

察にも絶好のポイント。ベンチを置くなど癒しの場となるよう検討。

また、池と広場の間に傾斜度の強い斜面あり、転落防護柵の設置方法を検討。

3 ウォーキングマップ作成と地域センター外苑等公園整備

実施計画及び現地確認等の結果に基づき「東広島市民協働のまちづくり活動応援補助金事業」によりウォーキングマップの作成、マップ看板の作成と設置、センター外苑等の公園整備を行った。

事業実績

NO	事業種目	数量	内容
1	ウォーキングマップ印刷	6,000部	全戸配布
2	ウォーキングコース屋外看板設置	3枚	センター前、エコ七の杜かつえ坂にここ公園
3	休憩所用ベンチ設置	5台	センター外苑 4 刈又池公園 1
4	苗木植樹	6種 24本	センター外苑
5	憩いの場所整備		立木伐採撤去工事
			外壁設置工事
			保護柵設置工事
			庭園まさ土投入

工事・設置状況



センター前看板設置 (H28.5.1)



センター外苑整備完成(H28.5.1)



刈又池ベンチ設置(H28.6.26)

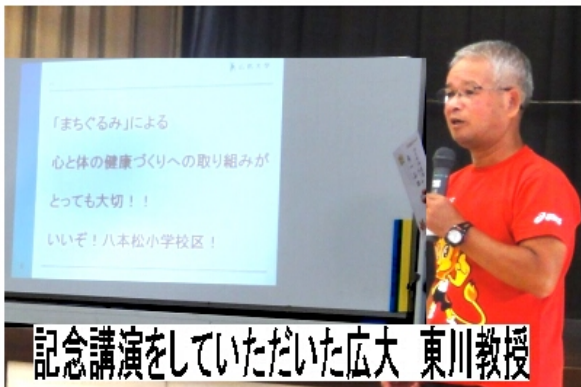


看板設置状況（左：穴掘り 中：支柱基礎工 右：完成）(H28.6.26)

4 「まちぐるみ心と体の健康づくり」ウォーキングイベント開く



まちぐるみ健康ウォーク
参加者全員安全に完歩



記念講演をいただいた広大 東川教授

八本松小学校区住民自治協議会は10月8日「まちぐるみ健康ウォーク」を開催した。このイベントは昨年度から重点活動として取り組んできた「まちぐるみ心と体の健康づくり」の成果を地域の皆さんに紹介し、活用していただくために開催されたもの。天候が心配される中スタッフを含め64名の皆さんが八本松地域センターに集合した。

ウォーキングに先立ち行われた記念講演で広島大学スポーツ科学センターの東川教授は「現在全国の下位に低迷する広島県の健康寿命の向上には食生活の他社会参加と運動が重要で『まちぐるみ心と体の健康づくり』の取り組みはその手助けとなる大変良い取り組み」と述べ、八本松小学校区にエールを送っていただいた。

また、ウォーキングでは広島大学、日興苑遊歩会、東広島ウォーキング協会、東広島市スポーツ推進委員協議会、八本松八十八石仏の会、八本松南上地区社会福祉協議会、東広島市健康増進課等多く皆様のご協力により参加者の安全な歩行を確保。特に、班単位の存否確認や交通班・支援班・看護班等を配備した。コースは当日雨模様のため2kmに短縮されたが参加者全員が完歩する成果が得られた。

また、コースの途中には「エコ七の杜」や「八十八石仏」の説明などもあり参加者の皆さんは楽しくウォーキングができたものと思われる。

当日は足腰への負担を軽減することができるノルディックウォーク（二本の専用ポールを使用して歩行するもの、器材は広島大学提供）を採用していたが、それでも負担を抱える方には周囲の参加者の温かい支援が見られ本当の「まちぐるみ心と体の健康づくり」が実践されていた。

中曾会長はあいさつで「とにかく健康第一、みんなで楽しく健康で過ごせる町づくりにこの取組みがつながることを期待する」と述べた。（自治協ニュース第2806号引用）

